

出前講座「所沢都市計画とCOOL JAPAN FOREST」

2018-11-2 記 栗屋貴夫

実施日時 2018年11月1日（木） 13:30~15:40

参加者 24名

会場 中央公民館

11月1日（木）所沢中央公民館で 出前講座「所沢都市計画とCOOL JAPAN FOREST」と題して所沢市経営企画課吉川主幹と溝井主査をお招きして勉強会を開催しました。出席者は24名で1号室は丁度満席となりました。



お話の概略は以下の通りでした。

所沢市は今後少子高齢化を迎え20年後には3人に一人が高齢者になる。

そこで所沢市は「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を掲げ ①生産年齢人口の確保 ②急激な人口減少の緩和、を目指し、今後5年間は「魅力」と「元気」に重点を置いて土台作りを進める。

その重点プロジェクトの一つが「COOL JAPAN FOREST」構想である。

構想のきっかけは「旧所沢浄化センター跡地」にKADOKAWAが進出決定をしてくれたことであった。そして地域貢献機能として、①図書館・美術館等の文化施設 ②自由に往来できる開放スペース③生物多様性に配慮した植栽④障害者雇用に配慮⑤屋上緑化等を提案してくれた。

計画の概要は「浄化センター跡地」にKADOKAWAが印刷工場、物流施設の他に総力を結集して図書館、美術館、博物館、ホテル等を建設し（ところざわサクラタウンと称する）クール

ジャパンを発信する総本山とする(アニメの聖地1番札所)。

所沢市はさくらサクラタウンを中心に半径500mを重点的に整備し(COOL JAPAN FORESTと称する)観光客の受け入れ体制及び産業創出の周辺整備を図り、「みどり・文化・産業が調和した地域づくり」「所沢からクールジャパンを世界に発信」「新しい地方創生を体現【住んでみたい・訪ねてみたいまち】を実現するべく「COOL JAPAN FOREST構想」を推進する。

第一段階は核となる「ところざわサクラタウン」の完成、周辺環境の整備、交通アクセス構築
(~2020年)

第二段階は成果創出期。クールジャパンを世界に発信、産業エリア創出、広域的な観光連動
(2025年)

第三段階は「みどり・文化・産業が調和したまち」の実現。(2026年~)

終了してからの質疑応答の時間で、多くの方からたくさんの質問が出ましたが、ほとんどの能力質問は、①図書館美術館博物館というけれど地域の要望をどれだけ反映したものになるのか ②産業創出というけれどいったい何人の雇用が増えるのか、③年間150万人の来訪者という事けれど、地元でどれだけお金を落としてくれるのか、等々大変厳しい意見が多かったように思います。

今後とも一市民として注視をしていきたいと感じた次第です。

